**自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール　　太陽ユニット**

別添３

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **№** | **タイトル** | **評価項目** | **自己評価** | **記述** | **運営推進会議で話しあった内容** | **外部評価** | **記述** |
| **Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営** | | | |  |  |  |  |
| 1 | 理念の共有と実践 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入社時に伝え、施設内に掲示し共有している。全職員が意識し実践していく必要はある。 |  |  |  |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 世間ではコロナについて緩和が見られるが、まだ高齢者施設として難しい部分もある。地域のイベントなど、職員が積極的に参加していきたい。 |  |  | コロナ禍で慎重になるのは仕方ないと思いますが、全体的に地域とのつながりが薄い様に感じます |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 運営推進会議が再開となり、直接地域の方とお話させていただける機会が増えた。地域の事など教えていただている。 |  |  |  |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 協力関係は良好であると考えられるが、さらに密に日頃のサービスについて相談し合える機会をもつことが出来れば良い。 |  |  |  |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 委員会を設置、定期的に研修を実施し、学ぶ機会をもっている。身体拘束のないケアを心がけている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | うまく扱いいただくので、拘束や虐待が発生しているとは思えない |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 委員会の設置、定期的な研修を実施。今後、法人としてもアンケートの実施や外部講師依頼など力を入れていく。 | ダメな認識はあるが、毎日の中で気づかないうちに口調がきつくなり、虐待の1歩目になりうるので気を付ける。コロナ禍で施設に外部の目が届きにくくなったのも要因となり得る。  法人全体で外部講師が座学だけではなく、各施設を回る取り組み実施予定。  他施設でも虐待についての話題も多いが、どこからが虐待か？線引きが難しいと聞く事がある。  施設長がどこまで現場を把握できているか？引き出しを持っているか？も重要で、介護だけ完結することなく、専門職の意見も含め、感情論ではなく客観的に判断する必要がある。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 活用されている方もあり、制度について以前学ぶ機会もあったが、今後も全職員が学ぶ機会を持てるようにしていく必要がある。 |  |  |  |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入居前・入居時にも退居時についての説明を行なっている。　改定等についても書面や電話での連絡・説明を行なっている。 |  |  |  |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 面会時や電話連絡等、家族からの意見や要望を受け付けている。職員間での共有を行なっている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 家族の希望をそのまま反映させられるはずはないでしょうから |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 話しやすい職場環境であり意見や提案を会議やユニットで相談や話し合い運営に反映されている。 |  |  |  |
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 福利厚生の充実、年２回のアンケート実施など、働きやすい環境整備に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 利用者家族が個々の職員を把握しているとは言えない為、いい加減な回答です |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 施設内研修を行なっている。外部講師やオンラインを活用することもある。法人外研修への参加が機会が少なく課題である。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 同法人の施設同士はZOOMなど活用し話す機会があるが、他法人との交流が課題である。 |  |  |  |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 家事活動への参加など、出来る事は行なっていただける様に声がけを行っている。 |  |  |  |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 面会や外出の制限が緩和され、自由に交流いただける。 |  |  |  |
| **Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | |  |  |  |  |
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 日常の関わりの中で、状態や希望・意向の把握に努めているが、病状により、希望や意向を確認できない事もある。 |  |  |  |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 本人の意向は日常的に、家族の意向は面会時などに聞き取り等し、職員同士共有している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 本人の満足度が高い事が1番 |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 介護記録システムを活用。職員が施設スマホにて情報を共有出来ている。1dayシートに気づいた時に書き込めるようにしている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 介護保険外のサービスや制度を活用している方もいる。また、突発的なニーズ等、家族と相談し柔軟な対応を心がけている。 |  |  |  |
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 施設内のサービスのみの方もあり、一人ひとりの地域資源の活用が十分とは言えない。 |  |  |  |
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入居時に主治医について説明し、希望された方は施設の協力医が主治医となり、月２回往診に来ている。 |  |  |  |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 情報提供や洗濯物・必要物品準備など施設で対応する事もある。また、退院前カンファレンス参加や状況の確認などスムーズに受け入れられる様に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入居時、重度化・看取りの指針について確認いただいている。必要に応じ主治医や訪問看護に助言をいただく。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 定期的に行なっていたが、新採用の職員が居るため、再度訓練を行なう必要がある。 |  |  |  |
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 年2回の防災訓練を行なったが十分とは言えない。BCP策定と引き続き、訓練が必要。地域との協力も課題である。 | 現在は火災や水害（津波）想定の訓練を行なっている。昼想定だけではなく、職員数の少なくなる夜間を想定した訓練も必要。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ・津波に対しては模索中の様なので  ・年2回は昼、夜想定か？ |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | |  |  |  |  |
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 職員間で情報を共有し、一人ひとりにあった声がけ・対応をする様に、心がけている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一人ひとりにあったペースで過ごしていただいている。日々、様子に気を付け、希望をくみとれるように努めている。 |  |  |  |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ禍以降、職員のみで準備している。片づけにいては、下膳等入居者自ら行っていただける時もある。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ禍前の様子がわかりませんが、役割をもっていただければ良いと思います |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 食事・水分摂取量に気を付け、声がけを行なっている。十分な摂取量が難しい場合は、食事形態の変更や嗜好品の準備など工夫している。 |  |  |  |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ご自身では難しい方については、職員が声がけ・介助行なっている。また、歯科衛生士による口腔ケアを定期的に受けている方が多い。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一人ひとりに合わせた排泄介助や排便の把握・対応を行なっている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入居者の意向・体調や汚染等により、曜日の変更等柔軟に対応している。 |  |  |  |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一人ひとりに合わせた休息の時間をもうけ、無理のない様に声がけを行なっている。 |  |  |  |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 全職員が全入居者の服用中の薬の確認が出来る様にファイルになっている。薬変更時はいつも以上に状態の変化に気を付けている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 服用する薬の事をよく理解されており、細やかな気配りがされている |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 個々に合わせ、家事活動や余暇時間の支援を行っている。入居者お一人お一人に声をかける様に努めている。 |  |  |  |
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 施設としての外出行事は行なえていない。気候の良い時は声がけし外気浴等行っている。家族様との外出等は自由に出来ている。 |  |  |  |
| 37 | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 利用者のお金の所持はほぼなく、事務所でお預かりして希望時や必要時に購入代行を行なっている。 |  |  |  |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入居者・家族の希望により、電話が出来る様に支援している。手紙も切手の購入やポストへの投函等支援している。 |  |  |  |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 各居室には使い慣れた物をお持ち込み頂いたり、安全に過ごして頂ける様常に気を付け配慮している。共有のスペースでは、入居者同士のトラブルを回避できる様に配慮している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| **Ⅳ．本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）** | | | |  |  |  |  |
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 本人の意向を確認できない方も多い。日常の生活の様子などで、職員がくみ取る様に心掛けている。 |  |  |  |
| 41 | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 生活歴やその時々の心身状態に合わせ、職員が情報共有し適切な支援が行なえる様に心がけている。 |  |  |  |
| 42 | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 主治医による往診や週１回の訪問看護により健康面の相談をする事が出来る。また、職員が日々状況の把握に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 43 | 生活の継続性 | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 集団生活ではあるが、可能な限りご自分のペースで生活していただける様に心がけている。 |  |  |  |
| 44 | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ベッド以外は居室で使うものは持参して頂いている。事故等、危険を伴う物の持ち込みは、ご遠慮いただく事もある。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 既に本人の大切な物が何か不明の為、安全の為の制限は仕方ない |
| 45 | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 施設敷地内は屋外も自由に出る事が出来る。施設外へ外出は家族様付き添いいただく。 |  |  |  |
| 46 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 出来る事・出来ない事を職員が把握し、声がけを行なっている。全入居者への役割・楽しみごとについては、今後努力が必要である。 |  |  |  |
| 47 | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入居者同士のなじみの関係が出来ており、日々談笑する姿が見られる。より全入居者が活動的に過ごして頂ける様に努める必要がある。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 48 | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入居者と地域交流については以前より課題であり、職員が地域の行事に参加する等少しずつ改善出来るように努めている。 |  |  |  |
| 49 | 総合 | 本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 職員も業務に追われることなく、入居者と過ごす時間がある。日々の会話や様子から安心して過ごして頂ける様に努めている。地域の方々との交流は課題。今後改善に努めていきたい。 | グループホームは難しい部分がある。入居していただく中で介護度が上がっていっても、一般浴しかない等ハード面での問題が出てくる。認知症の診断がある方が入居対象だが、軽度の方だと本人が入居を嫌がられる。  次の法改正でどうなるか？見ていく必要がある。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 安心してグループホームに任せる事が出来ている  このまま、穏やかな生活を送れる事を望みます |